

# 両羽博物図譜

松森胤保が描いた世界



戊辰戦争を戦った松山藩付家老が描いた動植物たち

令和6年 **10/26<sup>土</sup>-12/22<sup>日</sup>** **入館無料**

◆開館時間 午前9時～午後4時30分（最終入館は4時まで） ◆休館日 月曜日（月曜日が休日の時は翌日）

【文化資料館調査員による展示解説】 11月16日（土）午前10時～（1時間程度） / 申込：不要

【松山文化伝承館学芸員による松森胤保についてのギャラリートーク】 12月8日（日）午後1時30分～（1時間程度） / 申込：不要



酒田市文化資料館 こう きゅう 光丘文庫  
（酒田市総合文化センター内）

〒998-0034 山形県酒田市中央西町2番59号  
TEL: 0234-22-0551 FAX: 0234-22-0612  
mail: bunkashiryoukan@city.sakata.yamagata.jp



# 両羽博物図譜

～松森胤保が描いた世界～

『両羽博物図譜』は、鶴岡出身の松森胤保（文政8/1825～明治25/1892）が明治時代に著わした、今でいう生き物図鑑と言えるものです。合計59冊にも上る手描きの図譜は、庄内地方の動植物を中心としており、胤保のライフワークの集大成として最晩年まで執筆が続けられました。

『両羽博物図譜』は7部構成で、『両羽獣類図譜』『両羽禽類図譜』『両羽爬虫図譜』『両羽魚類図譜』『両羽貝螺図譜』『両羽飛虫図譜』『両羽植物図譜』から成っています。胤保は取り分け鳥類を好み、的確にその特徴を捉えており、『両羽禽類図譜』はとくに優れた仕上がりになっています。細かな筆遣いで描かれた図譜は、一つひとつの図そのものに魅力があります。胤保は「万物一系理」という独特な分類方法で図を並べており、収集した動植物を体系化しようとした姿勢は、当時としては珍しいものでした。

昭和10年（1935）、財団法人光丘文庫への東宮殿下台臨十周年記念図書の一部として、『両羽博物図譜』が光丘文庫の蔵書となりました。昭和28年（1953）に山形県指定文化財（典籍）に指定されています。今回の展示では、『両羽博物図譜』原本の一部を紹介いたします。



『両羽獣類図譜』



『両羽禽類図譜』



『両羽爬虫図譜』



『両羽魚類図譜』



『両羽貝螺図譜』



『両羽飛虫図譜』



『両羽植物図譜』

展示協力 松森写真館 / 大寶館

## 【交通のご案内】

- JR 羽越線酒田駅より徒歩約 14 分
- 日本海東北自動車道 酒田 IC より車で約 12 分

## 酒田市文化資料館光丘文庫

〒998-0034 山形県酒田市中央西町2番59号

TEL : 0234-22-0551 FAX : 0234-22-0612

mail : bunkashiryokan@city.sakata.yamagata.jp

